



プロジェクトニュース

シエラレオネ 地域開発能力向上 (CDCD) プロジェクト

「第30回記念」号

2012年11月15日 (Vol.30)

目次

はじめに -さらなる仕込みの時期-

1. 現場活動の実況中継

1.1 研修計画・実施 ～ホワイトボードの活用から～



シエラレオネ



プロジェクト対象県

2. プロジェクトの進捗報告

2.1 全国地方行政関係者へプロジェクト成果品を配布 ～県・村落開発モデルの普及・定着へ向けて～

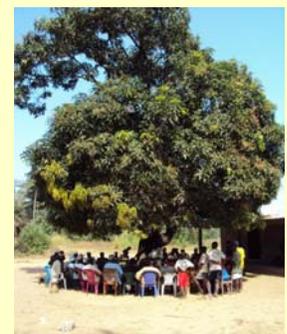
3. 大好評のコラム

3.1 シエラの子カラ：コブラの子カラ

3.2 ごっつあんです、シエラレオネ：今回は「2軒はしご」しましょ。

第25話：1軒目 スパゲティはメインかサブか？

第26話：2軒目 旅人を暖かく送り出してくれるお店



*プロジェクトHPにもアクセスください：<http://www.jica.go.jp/project/sierraleone/0901171/index.html>

はじめに ーさらなる仕込みの時期ー

今年 11 月でプロジェクトは開始以来、丸 3 年が経ちました。プロジェクトニュースも回を重ね、今回で 30 回目の発行となりました。今回の節目を機に、さらに内容を充実させたニュースをお届けしたいと思います。

早いもので、新年の足音が少しずつ聞こえ始め、広報のためのプロジェクトカレンダーを準備する時期になりました。今回のプロジェクトニュースは、2013 年カレンダーに採用した現地活動の写真を掲載しつつ、お届けします。



2013 年カレンダー写真：選挙登録する住民

11 月 17 日に投票を控える統一選挙以降、新しい大臣、副大臣、県議会議長ら、プロジェクトの新しいカウンターパートが着任します。

新しい政府と行政の体制が本格的に始動するのは 2013 年 1 月以降だろうと言われています。意思決定者である行政の長が不在の今も、カウンターパートである本省、県議会の職員は業務を続けています。

収穫を終え、新たに作物を育てる前に、まずは土作りから始めます。これまでの実績と教訓を肥やしにして、私たちプロジェクトチームは、2013 年 1 月以降の本格的な活動支援に向けた様々な仕込み、いわば新たな土作りをする時期に入っています。



2013 年カレンダー写真：モデルワールドプロジェクトの現場

CDCD プロジェクトでは、技術協力プロジェクトの支援方法である専門家派遣、日本への研修員受入、機材供与、技術交換、第三国研修などを有機的に組み合わせ、よりよいタイミングで投入し、プロジェクト目標達成に向け、効果的な支援を強化していきます。

潜在能力の高い本省と県議会の職員が、CDCD プロジェクトの活動で得た地域開発の好事例をシエラレオネ全国へ普及し、定着できるように、さらなる仕込みを専門家一丸となって、着実に進めていきます。



2013 年カレンダー写真：フィーダー道路改修工事現場

平林リーダー

1. 現場活動の実況中継

1.1 研修計画・実施 ～ホワイトボードの活用から～

「〇〇さんはどこにいますか?」「知りません。」

県議会では、訪問者と出勤している職員との間でこのようなやり取りが毎日何回も行われます。これは、CDCDプロジェクトの専門家、スタッフも例外ではありません。

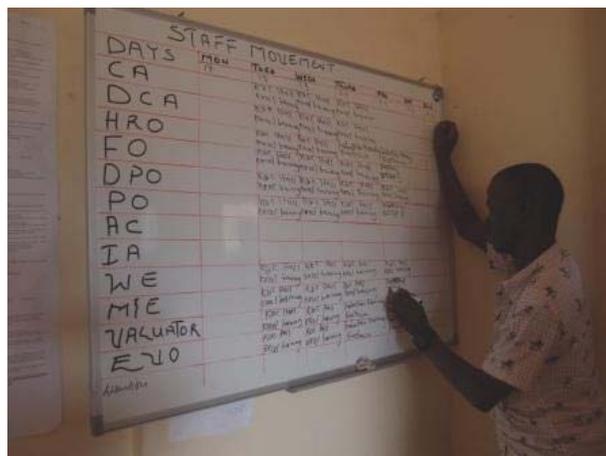
用事のある県議会職員を探して、県議会中のオフィスをノックして回ることも多々あります。これは、カンビア県、ポートロコ県議会に限った話ではありませんが、職員のスケジュールがしっかりと管理されていないようです。

この状況を改善するために、CDCDプロジェクトではホワイトボードなどの掲示板を活用した職員管理を県議会に助言しました。これを受けて、カンビア県、ポートロコ県の人事担当官からホワイトボードの供与依頼を受け、ホワイトボードが両県議会へ供与されることになりました。

このホワイトボードの使い方はいたってシンプルで、写真の通りに各職員の毎週のスケジュールをホワイトボードに記入するだけです。カンビア県、ポートロコ県議会ともに、正面玄関の目に付く場所に設置されました。

日本では、当たり前のように使われているホワイトボードによる業務管理ですが、シエラレオネでは、今までにない方法だそうです。10月中旬に受け入れた、他県（カイラフン県、プジョン県）職員のスタディツアーでも関心が高かったです。

このホワイトボードの活用は、職員の業務管理とともに、県議会の訪問者に対しても職員の情報を提供しています。日本の地方行政機関では、地域住民へ様々な情報も提供されています。このような情報提供も地方行政機関の重要な役割だということを今後も伝えていきたいと思えます。



カンビア県議会では活用されているホワイトボード



ポートロコ県議会では活用されているホワイトボード



県議会の人事官と打ち合わせする反町専門家

反町専門家（研修計画・実施担当）

2. プロジェクト進捗報告

2.1 全国地方行政関係者へプロジェクト成果品を配布 ～県・村落開発モデルの普及・定着へ向けて～

11月9日に、全国に19ある県市議会の主席行政官などの代表者を地方自治地域開発省に招いて、プロジェクトの成果品である県・村落開発ハンドブック改訂版の説明会・配布式を行いました。

県・村落開発ハンドブックは、CDCDプロジェクトの現場活動を通じて得た教訓・好事例に全国地方行政関係者からの助言を加えて完成した、シエラレオネ全国に普及を図る開発の実務書です。

今年5月に同ハンドブック Version.1が全国の地方行政関係者に配布されました。その後、地方行政と本省関係者を中心に内容の改訂及び編集作業を進め、改訂版が完成しました。

さあ、2013年1月以降、プロジェクトでは、地方自治地域開発省によるハンドブック活用のモニタリングを段階的に支援していきます。そして、年に一度、内容をさらに改訂していく。

ハンドブックは配っただけでは意味がありません。地域開発の実務者に使われ、普及、定着してこそ、目的が達成されます。

モニタリングや普及の仕組み作りは本省の役割。しかし、先頭に立ってハンドブックを普及していくのは、地方行政の職員たちです。

シエラレオネの地方行政関係者のうち、心からハンドブックの便利さを実感し、全国へ普及したいと願う人材がいます。プロジェクトでは、彼らの活躍する機会を設定し、全国普及の手伝いをしていく。

今、プロジェクトで支援したシエラレオネの地域開発の実務書の普及・定着に向け、新たなスタート地点に立ったといえるでしょう。

平林リーダー



全国の地方行政代表者へのハンドブック説明会（地方自治地域開発省にて）



カレンダー写真：カルバート改修工事：Before（右上）/After



カレンダー写真：住民へ説明する県議会職員

3. 大好評のコラム：

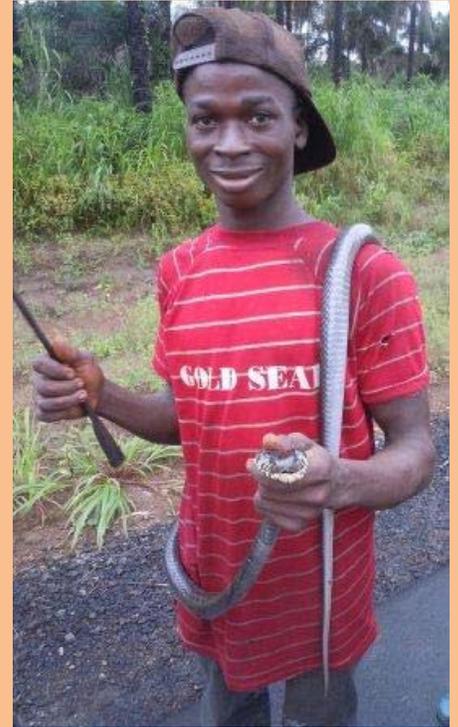
3.1 シエラのチカラ：コブラのチカラ

首都フリータウンと地方を結ぶ道中で、野生動物を見ることはほとんどありません。住民によると、幹線道路沿いでもかつてはサルをよく見かけたそうですが。

東アフリカ諸国では、地方に行くといボイノシシや鹿などの野生動物によく出くわしたものです。

ところがある日、長いロープのようなものを体に巻いて、歩いている男性が視界に飛び込んできました。

「あれはコブラだ！」と運転手が言います。近づいていくと、確かに蛇のようです。



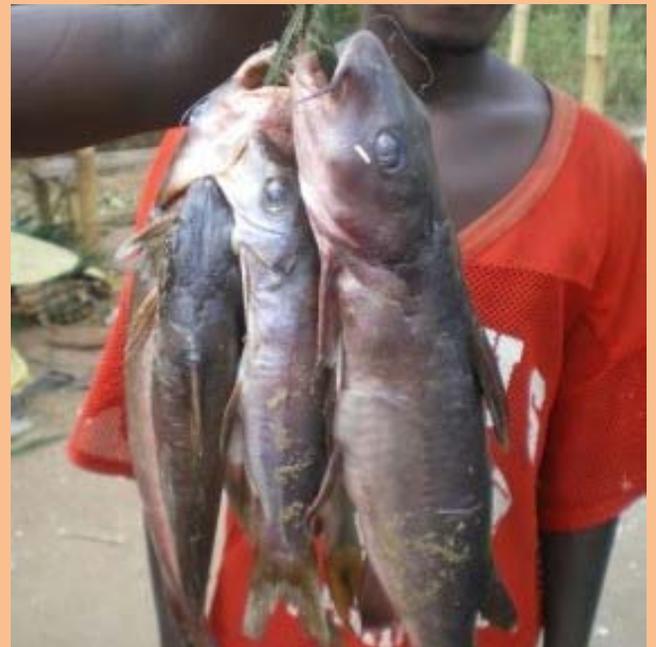
男性の肩にかけられたコブラ

早速、車を止めてもらい、コブラを肩越しに巻いた男性に話を聞きます。すると、これからコブラを売りに行くところ、とのこと。

コブラの肉も鶏肉や牛肉と同じように、キャサバ入りパームオイルのソースに入れて食べるとおいしいそうです。一度試してみたい、そう思ったのは私だけではないはず。

お次は川で取れたなまずの仲間が売られていました。稀ですが他にも道中で、グラスカッター、サル、小鹿などなど野生動物を手を持って、貴重な蛋白源を売っている光景に出くわすことがあります。

幹線道路からはずれ、ブッシュの中に入っていくと、沢山の蛋白源ならぬ野生動物が生息していそうです。これぞ。シエラのチカラ、コブラのチカラ。



見事なとれたての魚たち

平林リーダー

3. コラム：ごつつあんです！シエラレオネ 「2軒はしご」しましよ。

第 25 話：1 軒目 ～スパゲティはメインかサブか～

首都フリータウンの町中から最も近いビーチの隅に位置する Atlantic をご紹介しましょう。このお店、シエラレオネで唯一のゴルフ場の隣に位置しています。



お店のすぐ外はビーチです。もう一度言いますよ、「ビーチ」です。



お店から見えるすばらしい眺め

打ち寄せる波の音、心地いいシーブリーズが体をすり抜けていく。癒しの空間が待っています。

このお店は、レバノン人経営だけあって、メニューはレバノン料理あり、シーフード、肉料理もあります。

ひらしゅらんのイチ押しは、「チキンエスカロップ」。肉厚のチキンにミートソースがたっぷりかかった一品は、食べ応えあり。しかも、付け合わせは、チキンに負けじと自己主張するミートソーススパゲティ。どちらがメインなの？1度で2度楽しめるメニューです。



肉厚チキンエスカロップの後ろに控えるのはミートソーススパゲティ。

日曜日だけ楽しめるランチも是非お試しあれ。

日曜の定番ランチメニューは、特性カレー。フルーツ、野菜、クルトン、青唐辛子などなどのトッピングが、カートに乗って堂々と登場。だれもが一度は「わあ～」と声を上げるでしょう。楽しいですよ。



カレー（左上）とトッピングさまざま

カレーはちょっと見、日本のカレーを思わせませんが、薄味でしょっぱい。だからこそ、トッピングで、自分だけの味を作る。

夜は遅くまで営業しているこのお店。日曜日のランチタイムに「けだるそう」に働いている店員さんの姿を見ていると、日曜日の昼間だな～、と実感します。

ひらしゅらんの独断と偏見の評価：★★★★☆。ボリュームたっぷりのスパゲティの付け合わせは最高です！

第26話：2軒目 ～旅人を暖かく送り出してくれるお店～

さあ、2軒目はAtlantaからビーチ沿いに北に向かったところにあるAllexe'sへ。

このレストランは、空港と首都フリータウンを結ぶ連絡ボートの船着場に隣接しています。

このお店は、生ビールが飲めるシエラオネでも数少ないお店。まずは、夕陽をバックに、生ビー



シエラオネの海の幸たっぷりのシーフードグラタン（左）。まずは冷えた生ビールで乾杯。

ルでかんぱ〜い。最高です。

このお店のひらしゅらんのイチ押しは、ポークスペアリブ。ジューシーでボリュームたっぷりの一品は、なかなか他のレ



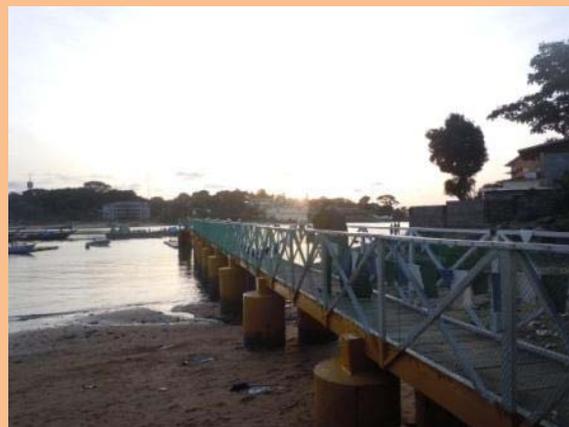
ジューシーなポークスペアリブ（左）と活ロブスター（右）

ストランでは楽しめません。

シーフードグラタンは女性に人気のメニュー。たっぷりかかったあつあつチーズの下は、新鮮シーフードのオーケストラ。

ロブスターの卸売りに偶然出会うことも。お店の人に食べたい活きロブスターを直接御指名なんてことも。

出張で、休暇で、離任で、シエラオネを出発する前に、このレストランで舌鼓を打って、そのまま空港行きのボートに乗り込む。



そして皆、旅立っていく。

これまでに沢山の旅人を見送ってきたレストラン。いいですね〜。今はもうこのレストランの先から出航するボートは運行してないですけど、、、。確かに、ボートは空いていました。

ひらしゅらんの独断と偏見の評価：★★★★☆。出発を前にした旅人への最高のおもてなし。

発行元：シエラレオネ 地域開発能力向上（CDCD）プロジェクト 編集長 平林

事務所：フリータウン事務所：地方自治地域開発省内、カンビア県事務所：同県議会内、ポートルコ県事務所：同県議会内

プロジェクト協力期間：2009年11月～2014年10月（5年間）

対象地域：カンビア県（25ワード：人口約30万人）、ポートルコ県（7ワード：人口約9万人）

カウンターパート：地方自治地域開発省、カンビア県議会、ポートルコ県議会

派遣専門家：平林リーダー、田中専門家（業務調整）、宿谷専門家（道路計画・設計/施工管理）、池上専門家（村落開発）：2012年11月実績

